



中国語の声調「四声」で発音を指導する王さん（中央）

2月3日～

日常生活で使う言葉を学ぶ 中国語講座

中国の文化や特色を学ぶ「中国語講座」が社会福祉センターで開催されました。

講師はA L T（外国語指導助手）の王克麗^{ワン ケリ}さん。日常生活で使う中国語をテーマに、参加者は食べ物の名称や、店での注文の仕方を教わりました。

池内奈々江さんは「発音に苦戦しましたが、説明がわかりやすく楽しく学べました」と話していました。



新井田さん（右手前）から作法を学ぶ参加者

2月2日

心和むひととき 新年の初釜「お茶会」

茶路振興会婦人部（中田フジ子部長）と茶路小中学校PTAによる「お茶会」が同校の茶室で開催され、会員や生徒など約20人が参加しました。

講師は、18歳から茶道をたしなむ新井田芳子さん(87)が務めました。参加者は、お茶と和菓子を味わい、茶碗を回す作法や「おいしくいただいた」という表現で、最後の一口は音を立てて飲むことなどを教わりました。



エンペラーサーモンを頬張る児童

1月22日

「エンペラーサーモン」を味わう ふるさと納税給食

子どもにふるさと納税や地元の魅力を知ってもらおうと、月一回「ふるさと納税給食」が行われています。

この日、お礼の品で人気の「エンペラーサーモン」が東和食品から無償で提供されました。給食を味わった茶路小中学校の對木彩太さん（小学3年）は、エンペラーサーモンをおかわりし「おいしかったので、もっと食べたい」と笑顔で話していました。



発表者の佐藤氏（左3人目）と鹿野諒太会長（左4人目）

1月22日

厳しい畜産情勢を改善する取り組みを発表 4Hクラブ全道大会出場

農業の知識や技術を発表する「釧路管内農業青年実績発表大会」で最優秀賞を受賞した白糠町4Hクラブが、1月28・29日の両日に札幌市で開かれる全道大会へ出場することから、町より激励金が贈呈されました。

発表者の佐藤和則氏は「発表内容は厳しい畜産情勢をどう改善するかというもの。大会を通してこの取り組みを他の地域でも波及させたい」と話していました。



最後の一打を見守るプレーヤーたち

2月16日

子どもから大人まで楽しく交流 白糠ゲートカーリング大会

町スポーツ推進委員会（坂本勝雄会長）主催の白糠ゲートカーリング大会が総合体育館で開催されました。

大会には、一般や小学生など12チーム62人がエントリー。試合では、正確なショットが出ると拍手や歓声が上がるなど、参加者は楽しんでプレーしていました。

瀬戸忠義さんは「年齢関係なくプレーできて楽しかったです。また参加したいです」と話していました。



取り札の字を確認しながら下の句かるたに挑戦する参加者

2月15日

北海道の伝統！下の句かるたに挑戦 ふるさと未来塾閉講式

ふるさと未来塾（塾長・川島眞澄教育長）の閉講式と4回目の講座が社会福祉センターで開かれ、小学生23人とジュニアボランティアの中高生6人が参加しました。参加者は川島塾長から修了証書を受け取った後、講座「下の句かるた」で交流を深めました。

平下まつりさん(白糠6年)は「かるたをチームで協力し、最後にもっと仲が深まりました」と笑顔でした。



佐々木さん（右）と参加者

2月1日

「ひな人形」作りに挑戦 折り紙講座

町内在住で折り紙作家の佐々木真美さんを講師に招いた「折り紙講座」が公民館で開催されました。

参加者は、細かい折り目のずれなどに注意しながら、折り紙で「ひな人形」を作りました。

瀬戸ルミ子さんは「かわいい作品ができました。これからもたくさんの種類の作品を作りたいです」と話していました。



モルックでピンに狙いを定めて棒を投げる参加者

1月28日・29日

ゲートカーリングやモルックで健康づくり エンジョイスports教室

誰でも気軽に楽しめるスポーツで健康づくりを図る「エンジョイスports教室」が2日間にわたって社会福祉センターで開催され、延べ48人が参加しました。

28日は「ゲートカーリング」、29日は木製の棒を投げて得点を競う「モルック」が行われました。モルックを体験した乃村智子さんは「ルールが簡単なので、初心者でも楽しめました」と笑顔で話していました。